

科目名	FBL-X：ソーシャルビジネスプランニング
成績入力担当	内田 浩史
開講区分	前期
曜日・時限	月4
教室	眺望館1階Vルーム
授業のテーマ	<p>SDGs（持続可能な開発目標）が示すように、現代社会では深刻な社会課題が様々な形で発生し、その解決が求められています。そうした課題を解決する事業はソーシャルビジネス（社会的事業）と呼ばれます。ソーシャルビジネスは長い間非営利組織（NPO等）や行政機関が中心となって提供してきましたが、最近では営利企業もその提供を行うようになってきました。深刻な社会課題を解決できる有効な社会的事業を生み出すことは容易ではありませんが、そのための革新的・創造的なアプローチとして、デザイン思考を用いるアプローチが注目されています。この授業は、デザイン思考を用いてソーシャルビジネスの事業計画を設計し、実際に事業化して社会へ実装するまでを構想する、プロジェクト型授業（PBL）です。講義形式でゲストも交えながら社会課題や社会的事業、デザイン思考について学びつつ、学生同士のチームでプロジェクトを進め、自分たちのアイデアを形にして最終発表を行います。</p>
授業の到達目標	<p>講義とデザイン思考を中心とするプロジェクトを通じ、非営利組織・行政が提供する社会的事業やその具体的なサービスについて学び、自分たちの事業をデザインして事業計画を立案できるようになることを目指します。</p> <p>またその中で、社会的起業家（ソーシャル・アントレプレナー）に必要な知識とスキル、革新的で前向きな思考法（マインドセット）を身に付け、社会に対して価値を生み出すことのできる潜在能力を涵養することを目指します。</p> <p>こうした能力は、非営利組織や行政に限らず、大企業や学界など社会の様々な分野で求められています。</p>
授業の概要と計画	<p>第1回：イントロダクション 第2-4回：社会課題、社会的事業、ソーシャル・サービス、社会的起業家に関する講義 第5-10回：デザイン思考に関する講義とワーク 第11回：チームプロジェクト中間発表会 第12回：デザイン思考に関する講義とワーク 第13-14回：事業化に関する講義とワーク 第15回：チームプロジェクト最終発表会 第16回：公開ワークショップ(受講生振り返り)</p> <p>今年度から始まる授業であること、また各チームのプロジェクトの進行状況に応じて内容を柔軟に組み替えることから、各回の内容は大幅に変わる可能性があります。また、調整が必要なため回は特定できませんが、ゲスト講師による講演と各チームのプランに対する講評を複数回含みます。</p> <p>授業は対面で行いますが、必要に応じてオンライン講義を加えることがあります。</p> <p>この講義はV.Schoolの砂川洋輝客員准教授とともに担当します。</p>

履修上の注意（関連科目情報）	<ul style="list-style-type: none"> ・やる気がある人は所属学部・バックグラウンドに関係なく歓迎します（他学部生、経営学初学者でも楽しく学べる形式を取ります） ・グループワークを中心とした授業（演習形式のセミナー）であるため、毎回の出席が必須であり、授業時間外の活動、チームメンバーとの共同作業が必要となります。 ・事前の履修申込が必要です。定員は24名程度（経営学部生12名程度、他学部生12名程度）とし、超える場合は選抜を行う予定です。 ・登録・選抜方法の詳細については経営学部ホームページで告知するので、必ずチェックしてください。 ・事前登録された後での登録の変更、取りやめは認めません。 ・頻繁にBEEFを確認してください。 ・履修登録後の授業関連の連絡・やり取りは、Slackを利用する予定です。 <p>【関連科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学部の様々な講義で扱われる多様なトピック（デザイン思考、システム思考、アントレプレナーシップ、マーケティング、収益分析、資金調達、等）を学ぶため、経営学部の多くの講義と関係しています。 ・「シリコンバレー型起業演習」はこの科目の導入編ともいえますが、同科目の前にこの科目を履修しても構いません。
事前・事後学修	事前学習・事後学習の両方に関わりますが、課題設定と解決策の提案を中心として、ビジネスプラン策定に必要なサイクルをぐるぐると繰り返すので、授業時間内外でメンバーと協力し、積極的にグループワークを行ってください。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーと協力し合いながら、実際の社会的事業のビジネスプランを考えていくセミナーであり、自ら能動的・積極的に学びたい、意欲のある学生にぴったりの授業です。 ・授業外でもグループごとのワークが求められるため、就職活動、バイトや部活等を理由にしてグループワークへの貢献が低く、他のメンバーに迷惑をかける場合は、履修途中でもドロップアウトしてもらいます。やる気のある学生はみな忙しく、特定のメンバーのみに特殊事情を理由として負担の軽減を許すことはありません。PCとネット環境さえあれば遠隔でもグループワークは可能な時代であり、実社会においてもむしろそのような働き方をする人、1人何役もこなす人が活躍しています。そうしたスキルも身に付けてもらいます。 ・デザイン思考を用いた同様の授業の過去の受講者からは、（授業外でも頑張った人ほど）デザイン思考のプロジェクトの経験が、就職活動における大きなアピールポイントになったという声をもらっています。 ・社会課題の解決やソーシャル・ビジネスに関わっておられる外部ゲストもお迎えします（NPOの方、行政職員の方等）ので、ダイナミックで実践型な内容となります。
教科書	講義スライドを用います。
参考書・参考資料等	<p>以下のような参考文献に加え、授業中に適宜紹介します。</p> <p>行政とデザイン 公共セクターに変化をもたらすデザイン思考の使い方(アンドレ・シャミネー) ビー・エヌ・エヌ新社 2019</p> <p>ソーシャル・スタートアップ(キャサリン・ケリー・ヤヌス)英知出版 2020</p>
参考	<ul style="list-style-type: none"> ・内田ゼミブログ（類似のプロジェクトに関して過去のゼミ生が書いたブログ） https://uchidazemikobe.hatenablog.com/ ・「シリコンバレー型起業演習」受講者ブログ（デザイン思考を用いた関連授業の受講生が書いてくれたブログ） https://ameblo.jp/shidai-siliconvally/ ・「シリコンバレー型起業演習」（関連授業）に対する過去の受講生からのメッセージ（受講のおすすめ） https://b.kobe-u.ac.jp/~uchida/siliconvalley.html